



**JVCA**  
Japan Venture Capital Association

一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会

**NEWS LETTER**  
No.40

2016年1月25日発行

**2016年 年頭所感 ～ JVCA会員の皆様へ ～**

尾崎前会長の遺志を継ぎ発足した14期新体制は、まさに「互助会」のごとく全員参加、数多くの企画を成功裏に遂行。各エコシステムのステークホルダーの方々に協会活動の積極的認知・協力を頂きました。これも皆様のご献身故、感謝申し上げます。新年も引き続き皆様と！

会長 仮屋 蘭一



「もはや戦後ではない」高度経済成長の序章となる60年前の丙申年代の言葉である。国の成長には、新産業の勃興が不可欠。潤沢な成長資金が流れ込む中、VC業界の真価が問われると共に、一段の脱皮を図る好機でもある。更なる飛躍の年にしていきましょう。

副会長 安藤 啓



VECは昨年創立40周年を祝いましたが、安倍政権の成長戦略の柱となっているベンチャー振興に向けて力を合わせて取り組みましょう。オープンイノベーションやCVCを取り上げ、今年も『ベンチャー白書』(和英文版)の内容の高度化及び普及のため努力していきます。

専務理事 市川 隆治



ベンチャー業界は、昨年までは追い風に乗っておりました。さらに、IoTやAIなどベンチャーが得意とする分野が加わってきております。この順風を一時のブームで終わらせないためにも、今年はVCの真価が問われる一年になると思います。頑張りましょう！

専務理事 土田 誠行



2016年は停滞していた日本経済が成長へと舵を切った節目の年になると思います。その成長のプロセスは過去に経験したものととはきっと違うものなのでしょう。自ら考え自ら行動し、自分自身も新たな成長が実感できる節目の年にしたいです。本年もよろしくお祈りします。

常務理事 呉 雅俊



昨年はVC投資額・投資社数が拡大するのみならず、新規のファンド組成も相次ぎ、ベンチャーキャピタル産業に対する 関連業界からの期待が顕在化した一年となりました。本年も業界の更なる発展に向け、関係者の皆様と連携を深め、ひたむきに邁進して参ります。

常務理事 赤浦 徹



VC業界にとって伸びる年バラエティと深みを増して成熟する年になることを願っています。政策面では改正金融商品取引法の施行、国立大学出資事業の始動、機関投資家との関係作りのテーマのもとVC業界のために一つずつ政策をめぐる環境を良くし、課題を解決するためのお役にたてればと考えております。

常務理事 郷 治友孝



現在のベンチャー・VC業界・JVCAに対するフォローの風を更に本物にするべく頑張っていきたいと思っております。担当させていただいているグローバル関連での海外のVCとの交流・クロスボーダー化や海外VCの日本への展開などを目標にしたいと思っております。

理事 齋藤 茂樹



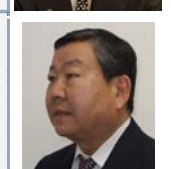
革新的技術の急速な進展から、新たな企業が活躍する素地が急激に大きくなっており、ベンチャー企業にリスクマネーを供給するVCの役割は一層重要となっています。幅広いステージの魅力的な企業の成長を支援すべく、投資活動をさらに強化していきます。

理事 川崎 憲一



IoT、AI、再生医療、FINTECHなど、社会の様々な領域でイノベーションが浸透してきています。こうした波をとらえた、新たな事業を展開する起業家を支え、共に歩み、また、VC各社と連携を広げて、社会の発展に貢献して参ります。

理事 鹿島 文行



2016年は、ベンチャーキャピタルという職業を通じて、日本における様々な産業のIT化、グローバル化をより一層推進し、日本の産業の競争力強化、世界における日本のポジショニング向上に貢献していきたいと思  
います。  
理事 田島聡一



猿が木登り上手なのは、次の足場や手掛りを知っているから。柵を越えようとホップに挑んだ羊は、ステップのための着地点を見極める必要があります。本当の困難はその見極め。猿知恵も総動員して、鶏でも飛翔できるように繋げる一年が来たと思っています。  
理事 神保敏明



米国の金利引き上げ、中国経済の先行き不安、石油価格の変動等、今年の世界経済はリーマンショック後の過剰流動性経済から、新たな局面を迎えようとしています。その状況下、わが国の経済に不可欠なイノベーションの創出に本年も邁進してまいります。  
理事 瀧口匡



昨今のベンチャー業界の盛り上がりも永続的なものとするべく全体エコシステムの成熟に向け昨年以上に積極的に貢献したいと考えております。特に大手事業会社によるオープンイノベーション、コーポレートベンチャーリング活動の定着化は重要課題であり、JVCAだからこそできる取組みを推進したいと考えております。  
理事 秋元信行



ベンチャー企業の新規上場やM&A件数の増加とともにVC業界への期待も高まっています。起業家支援を通じ、社会の価値創造に貢献するよう、JVCAをはじめとした関係者皆様と、更なるベンチャー業界の活性化に向け邁進して参ります。  
理事 渡辺洋行



昨年7月に3年ぶりに理事に復帰させて頂きましたが、日本のVC業界の変化と進歩に大変驚いております。独立系、金融系、CVC等様々なプレーヤーが各々の強みを生かして、VC業界全体がさらに発展する年になるよう老舗の1社として貢献して参ります。  
理事 細窪政



日本の成長には産業の新陳代謝が必要であり、ベンチャー育成が急務です。我が国のベンチャー投資額はまだ米国の20分の1程度ではありますが、その規模は確実に拡大しております資金があるところに人材が集まり産業が生まれる好循環を日本でも創るべく今年も頑張ります！  
理事 中野慎三



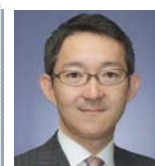
イノベーションの牽引役として、ベンチャーへの期待が高まっています。私達が一丸となりベンチャーをバックアップし、期待に応えることで、VC業界への信頼に繋がりたいと思います。新体制の下、充実した協会活動のお役に立てるよう頑張りたいと思います。  
理事 山中卓



近時のIoT/ビッグデータ/人工知能等のうねりは、従来の産業・社会構造を大きく変革する可能性があります。VC業界はイノベーションエコシステムの重要な役割を担うものとして、変革をより一層推し進めるべくその発展と貢献を期待します。  
監事 山崎博行



IoT全てのモノがインターネットに、そしてロボットやAIと連携がはじまり、本年は新たな未来を感じております。グローバルな中で多くの新ビジネス創出や速い展開が求められJVCAが参画する機能するエコシステムを皆様と共に築ければと思っています。  
監事 轟芳英



アジア各国の証券取引場とやり取りを通じて日本のベンチャービジネスに対する期待がものすごく高いことを実感しています。日本のベンチャーが(願わくばユニコーンとなって)アジア経済域内での大活躍する一助になればと思います！  
監事 加藤博久



## ■ 金融庁「平成27年金融商品取引法改正等に係る政令・内閣府令」公表 (ファンドエコシステム委員会 政策部会)

ホームページ等でご案内をしております通り、「金融商品取引法」が2015年6月3日に改正され、適格機関投資家等特例業務に関する「金融商品取引法改正等に係る政令・内閣府令」も併せて近日中に改正されて間もなく施行される運びとなります。

改正法の施行に当たっては、多くのVC会員が該当する「適格機関投資家等特例業務届出者」に対し、事業報告書(対当局)、運用報告書(対投資家)、説明書類(対公衆)の作成を含めた新たな行為規制が課せられることとなるため、このたび、改正法や作成書類に関するGP向けの説明会を2月に開催いたします。

実態のないファンドによる被害を防止すべく規制は厳格化されますが、法令の内容を正しく理解をしJVCA会員が適切な対応を進めていただきたく思います。会員各位のご理解ご協力をよろしくお願い致します。  
<http://www.fsa.go.jp/news/27/syouken/20151120-1.html>

## ■ 日米VCカンファレンス「Moment 2015」ご報告 (2015/10/30)

日米VCカンファレンス“Moment 2015”(主催:経済産業省)が2015年10月30日・31日スタンフォード大学 Arillaga Alumni Centerにて開催されました。

当協会は、会長仮屋藪をはじめ関係者8名が要請を受けてパネルディスカッションに登壇を致しました。日本のVCがシリコンバレーで一同に会し、自国・自産業を客観視し、課題と展望を共有することができたことはJVCAにとっても大変有意義な会であり、米国VCの視座の高さ・スケール感の再認識した気づきあるカンファレンスでもありました。

日本とシリコンバレーの好循環が生まれ、グローバルなベンチャーエコシステムが形成されるよう我々JVCAも活動を続けて参ります。

<http://moment2015.com/jp/top>



## ■ 「第8回 中国・四国地区VCトップ懇談会」開催 (2015/10/23)

2015年10月23日(金)に第8回中国・四国地区VCトップ懇談会をリーガロイヤルホテル広島(広島市)にて開催致しました。中国/四国/九州地区のVCのトップにお集まりをいただき、東京からは経産省・金融庁の関係者にもご参加を頂き、JVCA理事等、総勢53名が出席を頂きました。

仮屋藪会長の開会挨拶、安藤副会長(三菱UFJキャピタル株式会社代表取締役社長)がJVCAの活動概要についてプレゼンをし、続いて、経済産業省経済産業政策局 産業資金課長 兼 新規産業室長 福本様より「政府のベンチャー支援の動向～ベンチャー・エコシステムの形成に向けて～」という内容で経済産業省のベンチャーの取り組みについてのご説明を賜りました。パネルディスカッションではモデレーターに呉常務理事(株式会社TNPパートナーズ代表取締役社長)、パネリストは・桃太郎源株式会社代表取締役社長 塩見均氏、・フューチャーベンチャーキャピタル株式会社代表取締役社長 今庄啓二氏、・神保理事(池田泉州キャピタル株式会社会長)の4名による「地域活性化のためのVCの役割」について各社の地域での取り組みについて様々な事例をご紹介頂きました。

後半は、全員参加の自由討議「IPO以外のEXITについて」・「EXITのベストプラクティス」を中心に、地域貢献というスタイルは東京VCとは違う点について理解を深め、IPO・M&Aの出口についてのさまざまな議論を進めました。仮屋藪会長と安藤副会長からは、JVCAとして地域貢献の一環として情報発信、勉強会の開催、経営者との接点にも今後は取り組んで参りたいと語りました。

懇談会では、金融庁 総務企画局 市場課市場企画室長 大江様よりご挨拶、経済産業省 経済産業政策局 産業資金課長 兼 新規産業室長 福本様より乾杯ご発声を賜り大変和やかな歓談の後、最後に安藤副会長の中締めで閉会致しました。出席者からは、VCを含むベンチャーの動向に関する地方の現状を直接聞くことが出来て有意義な会だったとお言葉を頂戴しました。

今後もオープンイノベーション委員会の大企業・産学連携・地方創生部会のメンバーと連携をし、JVCAとして「地域経済の活性化」に対して真摯に取り組んでまいりたいと思います。



## ■「キャピタリスト研修・リユニオン」開催 (2015/12/3)

2015年12月3日JPタワーにて研修事業リユニオン&JVCA忘年会を開催致しました。2004年度からスタートした“JVCAベンチャーキャピタリスト育成事業”の受講生総数が約700名を超え、過去受講いただいた受講生、講師、JVCA会員、関係者を一同に集めた初の試みではありましたがお陰様で150名近い方にお越し頂き“JVCA各賞”、“フォーブス・キャピタリストランキング”の授与式も併せて執り行い、司会田島理事の軽快な進行、企画立案にご協力を頂いた渡辺理事のサポートもあり盛会の内に終了を致しました。

JVCAとしては引き続き研修事業を通じてキャピタリストの育成・スキル向上、VC業界のネットワークの提供を継続、ベンチャーキャピタル産業を次世代産業創生の担い手として会員企業が一丸となって活動を続けて参ります。また来年、同窓会にて皆様とお会いできますことを関係者一同、楽しみにしております！

### ■理事協議の結果、『JVCA各賞』は下記に決定しました！

各受賞者（社）には記念品を授与致しました。

『JVCA MOYV賞』1名 ～ Most Outstanding Young VC ～  
渡邊佑規氏（株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ）

（過去キャピタリスト研修受講生の中から1名を選出）

『JVCA功労賞（2名）』

後藤勝也氏（AZX Professionals GroupパートナーCEO）

増島雅和氏（森・濱田松本法律事務所パートナー）

『JVCA地方創生賞（2社）』

株式会社ドーガン（JVCA会員企業）

一般社団法人MAKOTO（2014、2015年度 研修受講企業）

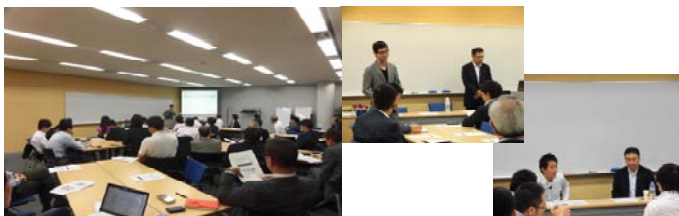


## ■第1回ナレッジ勉強会「VC新時代におけるIPO-Exitのベストプラクティス」～資本市場の一員として市場秩序の維持と投資回収の最大化を如何に両立するか～ 開催 (2015/10/7)

今回の勉強会は、株式市場（投資家）との対話という視点をメインにIPOを中心とした株式市場を通してのEXITにおける実務プロセス、過去事例の分析、上場株投資家のIPO企業の分析手法を中心の内容で、講師には平野清久氏（株式会社大和企業投資 取締役）と仮屋菌会長、ゲストスピーカーは上場株の運用経験のある山上慎太郎氏（株式会社コロプラネクスト 代表取締役社長）をお迎えし、VCと上場株運用者の視点の違いなどについて詳しく解説を頂きました。

VCがベンチャー企業の育成を主導することも珍しくない現在、VCは資本市場を構成する一員として株式市場とどのように付き合い、その中で投資回収の価値最大化を果たすか従来以上に高度なオペレーションが求められています。

今後も知見向上の機会としてナレッジ勉強会を継続して開催して参りたいと思います。



## ■勉強会「改正犯罪収益移転防止法」開催 西村あさひ法律事務所 弁護士 町田行人先生

12月14日(月)JVCA会議室において「改正犯罪収益移転防止法」～改正のポイントとファンド実務への影響について～勉強会を開催しました。

マネー・ロンダリングの防止等を目的として、銀行などの事業者による顧客等の取引時確認(本人確認など)、確認の記録等の作成・保存、疑わしい取引の届出等の制度を定めた法律である「犯罪による収益の移転防止に関する法律」に関する法令の改正があり、今回の改正によるポイントをはじめ、VCファンド実務への影響、変更点について解説を頂きました。

## ■「CVC/Open Innovation Forum 2015」開催（2015/11/24）

11月24日（火）NTTドコモ・ベンチャーズ様に協賛を頂きJVCA主催「CVC/Open Innovation Forum 2015」を開催致しました。おかげさまで120名近い事業会社・CVC・VC関係者にお集まりを頂き盛会のうちに終了しました。第4回目を迎えた本フォーラムでは、『Corporate Venturingとは？』と題し大手企業によるベンチャーソーシング、マイナー出資、協業、M&Aなどについての事業会社の取り組みやご経験などについて最前線で活躍をされている方たちにお集まりをいただき議論を致しました。

仮屋蘭会長の開会の挨拶から開始、オープニングスピーチはJVCA秋元理事（株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ取締役副社長）による『JVCAが推進するオープンイノベーション/コーポレートベンチャリング』についてのプレゼンテーション。

パネル1：『M&A戦略とベンチャリング戦略』では、モデレーターにJVCAオープンイノベーション部会長の安永謙（株式会社産業革新機構 戦略投資グループ マネージングディレクター）・矢島英明氏（シスコシステムズ合同会社 コーポレートディベロップメント シニアマネージャー）、・東林知隆氏（楽天株式会社 執行役員 事業開発室長）・出川章理氏（インテルキャピタル マネージングディレクター）、ゲストスピーカーとして梅澤高明氏（A.T. カーニー株式会社 会長）豪華4名にご登壇をいただき『M&A戦略とベンチャリング戦略』についてM&Aを中心に投資を展開をしている大手企業の方々には各社の戦略や戦術についてオフレコも含めご紹介をいただきました。

パネル2：『LP投資を通じたVCの有効活用』では、モデレーターにJVCA仮屋蘭会長（株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ マネージング・パートナー）・江幡智広氏（KDDI株式会社 新規事業統括本部 新規ビジネス推進本部 戦略推進部長 KDDI ∞ Labo長）・竹内 淳氏（株式会社リクルートホールディングス R&D本部 ファンドグループマネージャー）・中野理事（伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長）・秋元理事4名にご登壇をいただき『LP投資を通じたVCの有効活用』について大企業のCorporate Venturing/Open Innovation活動におけるLP投資の位置付け、目的、活用方法について議論を頂きました。

大企業とベンチャー企業・及び中小企業との連携とともに、CVCとVCの連携も今後の日本の成長戦略に欠くことのできない要素になってきております。JVCAとしては、継続して事業会社及びCVC、そしてベンチャーキャピタル等が互いに対する理解を深め、ネットワークの構築など様々な場面で新規事業のお役に立てるような企画を定期的に進めて参りたいと考えております。



## ■フォーブスジャパン『日本のベンチャー投資家～最も影響力があるのは誰だ？～』発表

”フォーブスジャパン”1月号（11月25日発売）の中で日本のスタートアップにフォーカスをした特集が組まれました。その中で、『日本のベンチャー投資家～最も影響力があるのは誰だ？～』では業界誌としては“初”となる【投資家ランキング】が発表、12月3日JVCAイベント内で㈱アトミックスメディア代表取締役 CEO・Forbes JAPAN編集長高野 真様にお越しいただき、表彰式が執り行われました。

※JVCA会員企業協力のもと、2014年11月～1年間におけるキャピタルゲインを対象

- 1位 加藤由紀子氏（SBIインベストメント）
- 2位 渡辺洋行氏（B Dash Ventures）
- 3位 赤浦 徹氏（インキュベイトファンド）
- 4位 仮屋蘭聡一氏（グロービス・キャピタル・パートナーズ）
- 5位 村田祐介氏（インキュベイトファンド）
- 6位 河野純一郎氏（伊藤忠テクノロジーベンチャーズ）
- 7位 高宮慎一氏（グロービス・キャピタル・パートナーズ）
- 8位 田島聡一氏（サイバーエージェント・ベンチャーズ）
- 9位 今野 穰氏（グロービス・キャピタル・パートナーズ）
- 10位 前田信敏氏（ウエルインベストメント）

<http://forbesjapan.com/articles/detail/10259>



## JVCAからのお知らせ

### 1. 新規会員のご紹介

- ・ (VC) アーキタイプベンチャーズ株式会社 <http://archetype.co.jp/>
- ・ (VC) 株式会社ドوغان <http://www.dogan.jp/>
- ・ (VC) 株式会社アコード・ベンチャーズ <http://accordventures.co.jp/>
- ・ (CVC) オリックス株式会社 <http://www.orix.co.jp/>
- ・ (CVC) アイ・マーキュリーキャピタル株式会社 <http://mixi.co.jp/>
- ・ (賛助) 東京応化工業株式会社 <http://www.tok.co.jp/>

### 2. ロゴマークが新しくなりました

この度、JVCAホームページリニューアルを機にロゴタイプのデザインを一新致しました。

「社会的存在としての清廉さ、公明さ・世界に大きな流れを創っていく勢い、力強さ・ベンチャー企業、事業会社、投資家を有機的に繋ぐイノベーションハブ」というメッセージを組み込み、VC業界のさらなる発展への想いが込められております。

### 3. ホームページをリニューアル致しました

JVCAのホームページをリニューアルいたしました。より多くの情報をお届けするべく内容を充実してまいりますので引き続きよろしくお願い致します。 <https://jvca.jp/>

### 4. 2016年夏にJVCAオフィスが移転します

現在JVCAが入居している新宿フロントタワーの賃貸借契約期間満了（2016年9月末）に伴い、移転先候補の選定を進めておりましたが、森ビルからベンチャーの永続的なカルチャー（文化）創出というビジョンを含めたご提案をいただき2016年夏にアーク森ビルへの移転予定です。

時期：2016年8月（予定） 移転先：東京都港区赤坂一丁目12番32号アーク森ビル



## 2016 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます  
平成28年の新春を迎えお喜びを申し上げます  
本年も会員の皆様ならびに関係各位の一層の  
ご支援ご協力をお願い申し上げます

日本ベンチャーキャピタル協会  
事務局

#### 【編集後記】

あけましておめでとうございます。  
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。  
今年の事務局は、  
「謹賀新年 投資？（闘志）満々 一致団結  
心機一転 有言実行 誠心誠意 好機到来  
滅私奉公 優柔不断 臨機応変 全身全霊  
波瀾万丈 空前絶後 一蓮托生 自画自賛  
他力本願 千客万来 先見之明 大胆不敵  
抱腹絶倒・・・（大変だあ〜）」。  
(感謝感激) M

当協会ロゴマークが新しくなりました  
一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 事務局



日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.40

■発行日 平成28年1月25日

■発行 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

■編集 JVCA事務局/企画部

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1

新宿フロントタワー

TEL : 03-5937-0300 FAX : 03-5937-0301

E-mail : jimukyoku@jvca.jp URL : <https://jvca.jp/>

